

科目名		総合英語Ⅱ (Comprehensive English Ⅱ)							
学 年	学 科(コース)	単 位 数		必修 / 選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第2学年	機械工学科 電気工学科 制御情報工学科 物質工学科 経営情報学科	履修	2単位	—	講義	通年	60時間		
担 当 教 員		【常勤】 准教授 後川 知美							
学 習 到 達 目 標									
科目の到達目標レベル	既習の学習内容をふまえて語彙を増やしつゝ、基礎的な英語運用力を身につける: (1)基本的な言語材料を含む、まとまりのある文章を理解できる。 (2)内容に関する質問を理解し、英語で答えることができる。 (3)語の強弱や英文の意味のまとまりを意識して発音・音読できる。								
到達目標 (評価項目)	優れた到達レベルの 目安	良好な到達レベルの 目安	最低限の到達レベルの 目安	未到達レベルの 目安					
到達目標 ①	基本的な言語材料を含むまとまりのある文章を80%以上理解できる。	基本的な言語材料を含むまとまりのある文章を70%程度理解できる。	基本的な言語材料を含むまとまりのある文章を60%程度理解できる。	基本的な言語材料を含むまとまりのある文章を理解できない。					
到達目標 ②	内容に関する質問に英語で80%以上答えることができる。	内容に関する質問に英語で70%程度答えることができる。	内容に関する質問に英語で60%程度答えることができる。	内容に関する質問に英語で答えることができない。					
到達目標 ③	語の強弱や英文の意味のまとまりを意識して80%以上発音・音読できる。	語の強弱や英文の意味のまとまりを意識して70%程度発音・音読できる。	語の強弱や英文の意味のまとまりを意識して60%程度発音・音読できる。	語の強弱や英文の意味のまとまりを意識して発音・音読できない。					
学習・教育到達目標		(G)		JABEE基準1(2)					
達 成 度 評 価 (%)									
評価方法 指標と評価割合	中間 試験	期末・ 学年末 試験	小テスト	レポート	口頭 発表	成果品	ポート フォリオ	課題 GTEC	合計
総合評価割合	35	40			10			15	100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎			○			◎	100
思考・推論・創造への 適用力 【適用、分析レベル】								○	
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と 創造的思考力 【 】									

関 連 科 目 ， 教 科 書 お よ び 補 助 教 材	
関連科目	総合英語 I
教科書	My Way English Communication II（三省堂）
補助教材等	英和辞書、My Way English Communication II ワークブック（三省堂）、Step Upノート（ベネッセ）
学 習 上 の 留 意 点	
試験の結果だけでなく、授業での口頭発表や態度、レポートの提出状況も成績に関係するので注意すること。なお後期は課題にG-TECの結果を加味して評価します。ワークブックやStep Upbノートは自学の際にしっかり活用してください。	
担 当 教 員 か ら の メ ッ セ ー ジ	
これまで学習した内容をふまえながらさらなる語学力をつけるためには、授業での反復練習はもちろんですが、授業外での予習・復習がとても大切です。授業の前に、予習としてあらかじめ教科書の英文に目を通しておき、辞書を使って新出単語の意味を調べておく必要があります。授業では、間違いを恐れずに大きな声で発音や音読練習をし、ペア練習の際には誰とでも練習を行うなど、自ら積極的に参加しながら学習してください。試験の直前にあわてて暗記するといった学習方法では語学力はなかなか身につけません。毎日少しずつの勉強でも積み重なれば大きな力になります。	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	はじめに	・ シラバスの内容を理解できる。 ・ 学習の進め方を理解できる。	次回の授業の単語調べと本文確認
2	Lesson 1 Pictograms	強弱をつけて単語の発音ができる。 英文読解を通してSVCとSV0の違いを理解できる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
3	Lesson 1 Pictograms	強弱をつけて単語の発音ができる。 SV0 (if節) を含む英文を理解できる。 英文内容について英語で受け答えできる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
4	Lesson 1 Pictograms	強弱をつけて単語の発音ができる。 SVC (過去分詞) を用いた英文を理解できる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
5	Lesson 2 New Year's Celebrations	強弱をつけて単語の発音ができる。 SV00を用いた英文を理解できる。 英文内容について英語で受け答えできる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
6	Lesson 2 New Year's Celebrations	強弱をつけて単語の発音ができる。 SV00 (that/what節) を用いた英文を理解できる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
7	Lesson 2 New Year's Celebrations	強弱をつけて単語の発音ができる。 It seems that構文を用いた英文を理解できる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
8	中間テスト		
9	Lesson 3 Eco-friendly Inventions	強弱をつけて単語の発音ができる。 形式主語を用いた英文を理解できる。 英文内容について英語で受け答えできる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
10	Lesson 3 Eco-friendly Inventions	強弱をつけて単語の発音ができる。 形式目的語のitを用いた英文を理解できる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
11	Lesson 3 Eco-friendly Inventions	強弱をつけて単語の発音ができる。 形式目的語it+形容詞を用いた英文を理解できる。 英文内容について英語で受け答えできる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
12	Lesson 4 Brazil—Far away or Close?	強弱をつけて単語の発音ができる。 SVOCを用いた英文を理解できる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
13	Lesson 4 Brazil—Far away or Close?	強弱をつけて単語の発音ができる。 SVOC (知覚動詞) を含む英文を理解できる。 英文内容について英語で受け答えできる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
14	Lesson 4 Brazil—Far away or Close?	強弱をつけて単語の発音ができる。 SVOC (使役動詞) を用いた英文を理解できる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
15	答案返却・解答解説 これまでの学習事項のまとめ	試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	Lesson 5 Eye Contact	強弱をつけて単語の発音ができる。 SV0 (if節) を含む英文を理解できる。 英文内容について英語で受け答えできる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
17	Lesson 5 Eye Contact	強弱をつけて単語の発音ができる。 英文読解を通してSVCとSV0の違いを理解できる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
18	Lesson 5 Eye Contact	強弱をつけて単語の発音ができる。 SV0 (if節) を含む英文を理解できる。 英文内容について英語で受け答えできる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
19	Lesson 5 Eye Contact	強弱をつけて単語の発音ができる。 SVC (過去分詞) を用いた英文を理解できる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
20	Lesson 6 Space Elevator	強弱をつけて単語の発音ができる。 SV00を用いた英文を理解できる。 英文内容について英語で受け答えできる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
21	Lesson 6 Space Elevator	強弱をつけて単語の発音ができる。 SV00 (that/what節) を用いた英文を理解できる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
22	Lesson 6 Space Elevator	強弱をつけて単語の発音ができる。 SV00を用いた英文を理解できる。 英文内容について英語で受け答えできる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
23	中間テスト		
24	Lesson 6 Space Elevator	強弱をつけて単語の発音ができる。 英文読解を通してSVCとSV0の違いを理解できる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
25	Lesson 7 An Encouraging Song	強弱をつけて単語の発音ができる。 SV0 (if節) を含む英文を理解できる。 英文内容について英語で受け答えできる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
26	Lesson 7 An Encouraging Song	強弱をつけて単語の発音ができる。 SVC (過去分詞) を用いた英文を理解できる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
27	Lesson 7 An Encouraging Song	強弱をつけて単語の発音ができる。 SV00を用いた英文を理解できる。 英文内容について英語で受け答えできる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
28	Lesson 7 An Encouraging Song	強弱をつけて単語の発音ができる。 SV00 (that/what節) を用いた英文を理解できる。 意味のまとまりを意識しながら音読ができる。	次回の授業の単語調べと本文確認。各自でワークブックや問題集に取り組む。
29	まとめ	これまでの学習内容のまとめ	各自でワークブックや問題集に取り組む。
	学年末テスト		
30	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	
総 授 業 時 間 数			60 時間